



めさず学校像：心の「笑顔」あふれる学校

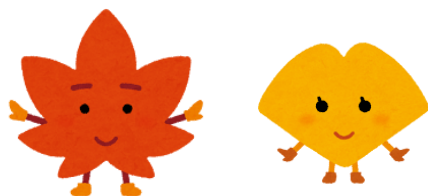
た じ ろ

第5号

《学校教育目標》 心豊かで、たくましく生き抜く力を身につけた生徒の育成

〒841-0016 佐賀県鳥栖市田代外町 651 番地1
TEL 0942-83-2758 FAX 0942-83-2822
URL <https://www.education.saga.jp/hp/tashiro-j/>

令和7年11月17日(月)
校長 中島達也



落ち葉の季節となり、日増しに寒さが強くなってきました。

2学期も、残すところ1か月ちょっととなりました。先日の全校集会では、たくさんの表彰を行いました。実りの秋となって、しっかり実を实らせてくれているなと嬉しく感じました。

日々の学校生活の中、また修学旅行や合唱コンクール、文化発表会などの学校行事を通して、子どもたちの成長を感じています。

3年生は、自分の進路実現に向けて、いよいよとなってきました。苦しいときかもしれませんが、焦る必要はありません。今できることを、今やらなければいけないことを、精一杯、悔いのないよう確実に、着実に行動だけだと思っています。

目標に向けて、がんばれ!!



先日、「鳥栖市青少年育成市民会議研究大会」で「中学生による意見発表」が行われました。

田代中学校から、2年生の大石 悠天さんが発表をしてくれました。その内容を紹介させていただきます。

父からのありがとう

田代中学校 二年 大石 悠天

お盆の時期になると僕は忙しくなります。

父がいなくなって、提灯を飾るのが僕の仕事になりました。提灯は押し入れの奥から取り出さなければなりません。飾るときに家族が近くであれこれ言うので、やりにくいときもあります。その後は、お盆にたくさんの親戚が家に来るので、僕の身長と同じくらい大きな机を奥の部屋から持ってきます。重くてへとへとになるからその仕事は好きではありませんが、家族みんなから助かったと声をかけてもらえると素直にうれしい気持ちになります。

今年、僕の家は、地区長になりました。家族に連れられて、地域の清掃ボランティアに参加するようになりました。僕は、近所の人たちから「重いものを運んで」と頼まれるなど力仕事を任せられます。きつくて疲れ果てますが、終わった後、「作業が早く進んだよ。ご苦労様。」といってもらえると、照れくさいけど、やっぱり感謝の言葉をかけられると心がほっこりします。

父の病気が悪化し、入院することになったとき、僕の気持ちは沈んで何をしていても心から楽しめなくなりました。外出すると知らない家族が楽しそうに過ごしている姿を見るのがつらくて、家でぼーっとしたり、スマートフォンをいじったり、ゲームをしたりして過ごすことが多くなっていました。今思うと、父の体調や病気がどうなるのかが分からないことが怖くて、何も考えないようにしていたのかもしれませんが、僕に様々なことを教えてくれた父が病気で弱っていく姿を見ながら、僕

は何もできない子どもなんだと痛感したのを覚えています。母も心労から元気がなくなっていて、このまま家族がいなくなつて、一人になったらどうしようという不安に駆られていましたが、そのときの僕は誰にも相談することができずにいました。

そんな中、立ち上がり、歩こうとする父に「肩を貸してくれ」と言われて支えることができました。僕よりずっと大きいと思っていた父が軽く小さく感じました。僕は、倒れないように必死に支えました。父からは、「ありがとう」と言われました。

僕は人から、「ありがとう」と言われることがうれしいです。当然、僕もその言葉をこたへることに言うようにしています。

でも、あのとき、僕は「ありがとう」と言えませんでした。

僕の父を支えてくれたドクター、看護師さんたちに。家族のように、僕を思いやり、励ましてくれたのに「ありがとう」と言えませんでした。

中学生になってからは、新しい友達ができ、人と話をするのが楽しくなりました。吹奏楽部でみんなと心を合わせて曲を完成させるのに達成感を得るなど充実した毎日を送っています。父の「ありがとう」を思い出すと、困っている人を助け、誰かのために自分ができることがあると気づき、少しずつ毎日が楽しく過ごせるようになってきました。

僕は将来看護師になりたいと思っています。僕がめざす看護師は、病気で苦しむ人の体のケアだけでなく、心に寄り添える看護師です。涙をこらえている母にそっとティッシュを差し伸べてくれた看護師さんのように相手の気持ちを思いやって支えられる人になりたいです。

僕が小学校の頃、父と祖母を立て続けに亡くしたことはとてもつらいできごとでしたが、その経験があったからこそ誰かの役にたつことの喜びと大切さを知ることができたと思っています。お盆の手伝いや地域のボランティア、友達と家族の生活のなかで出会う「ありがとう」がうれしくて、僕は前に進むことができたと思っています。

「親の死は親ができる最後の教育」とぼつりと母が言ったことがありました。父はまさに命を懸けて僕に大切なことを伝えてくれたと感じています。

僕は、父の「ありがとう」
に応えていく生き方をしてい
けるようにこれからも頑張り
ます。



交通事故防止！ 交通ルール・マナーを守ろう！

「すぐーる」でも配信させていただきましたが、自転車通学者が多く、事故が心配です。

この2学期、地域の方から、乗り方について連絡を数多くいただいております。

並進、坂を下る際のスピードの出し過ぎ、交差点での確認不足、一旦停止せずに急に飛び出す、ヘルメットのあごひも等々。

学校でも安全指導を行っておりますが、ご家庭でも、今一度、親子で話す機会を設けていただければと思います。



主な行事予定



1日(月)	1・2年二者面談 3年三者面談
2日(火)	1・2年二者面談 3年三者面談 SC来校日
3日(水)	全校集会 ノー部活動デー
4日(木)	1・2年二者面談 3年三者面談 3年お茶教室
5日(金)	3年三者面談 3年お茶教室 1年読み聞かせ
8日(月)	人権週間(～12日)
9日(火)	SC来校日
10日(水)	生徒集会(人権集会) いじめ・いのちを考える日 3年お茶教室
11日(木)	3年お茶教室
14日(日)	県下一斉部活動休業日
16日(火)	SC来校日
17日(水)	学級討議
18日(木)	専門委員会 フッ化物洗口
19日(金)	3年読み聞かせ
23日(火)	生徒集会 大掃除
24日(水)	終業式
25日(木)	冬期休業(～1月7日)

